

公表日

令和8年3月20日

事業所名

こぼんはうすさくら 神戸舞子教室

保護者等数(児童数) 21名

回収数 18件(割合85%)

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	3			・活動しやすい広さの教室だと思います。 ・スペースが限られた中で工夫されていると思います。	引き続き安全な空間を維持していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	1			・たくさんの先生が見守ってくださっていると思います。	丁寧な支援が行える配置に努めていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	2			・子どもにとってどこに何があるか等分かりやすい工夫がされている環境だと思います。	安心してご利用いただくために適切な環境整備を行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15				・子どもが好きそうなかわいいお部屋できれいにされていると思います。	引き続き清潔な空間を維持していきます。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17		1		・子どもの性格を考慮してレクリエーションへの取り組みを促し励ましをして下さっていると思います。 ・悩んでいる所や出来てない所など専門的に支援していると思います。 ・難しいとは思いますが一律の支援(プログラム)の中に全員一緒には不可能だと思う。児童発達なら分かりますが、それなら低学年2年生まで等、受け入れ時に決めておく必要があると感じる。	専門知識の向上に努めていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17			1	・ホームページ等に公表されている活動と実際の内容に乖離はないと思います。	今後も適切な支援計画を心掛けていきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	18				・子どもに合った目標設定をさせていただいていると思います。	今後も適切な支援計画を心掛けていきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	1			・様々な視点から支援内容を設定して下さっていると思います。	今後も適切な支援計画を心掛けていきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18					今後も適切な支援計画を心掛けていきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	1		1	・レクリエーションの種類が多くて有り難いです。	飽きのこないプログラムを引き続き維持していきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	3	2	7		今後の検討課題にしていきたいです。

保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	1			明確なお話や見通しが予想できる説明を心掛けていきます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18				明確なお話や見通しが予想できる説明を心掛けていきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	2	9		今後の検討課題にしていきたいと思ひます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思ひますか。	16	1	1	・アプリ、ライン、送迎時の口頭連絡で情報共有できていると思ひます。	不安な思ひが残らないよう今後も継続していきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18			・支援計画更新時に加え、何かあった際、都度アドバイスをいただけ有り難いです。 ・的確にアドバイスをもらえるので助かります。	今後も継続してきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思ひますか。	17		1	・親の悩み事や気持ちに寄り添っていたいと思ひます。 ・話し方、伝え方等、一部のスタッフは相手の受け取り方を考えながら伝える必要があると感じる。良いスタッフの方もいて寄り添って下さる方もいるので有難いですが、言い切り方は気分が良くない。せめて共感されていると思えるような終わり方をして欲しい。	話し方、お伝えの仕方も含め、お子様や保護者様に寄り添った支援に努めてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18				今後も保護者交流会を継続してきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17		1	・こちらからの連絡にはスピーディーに対応していただいていると思ひます。	迅速丁寧な問題と向き合っていきたいと思ひます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思ひますか。	17		1	・様々な形(アプリ、ライン、口頭)で情報伝達していただいていると思ひます。	引き続き丁寧な対応を心掛けていきたいと思ひます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16	1	1		今後の検討課題にしていきたいと思ひます。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思ひますか。	18				今後も注意して取り扱っていきます。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16		2		研修は随時行っていますが、周知説明を強化してきたいと思ひます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17		1	・レクリエーションの中に避難訓練を定期的に入れてくださっているのが有り難いです。 ・定期でやっていたいので行動や知識が子どもに根付いています。	定期的に行っていますが、利用者が固定されないよう曜日を変えるなど周知認識してきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思ひますか。	18			・安全に活動できるように、いつも事前準備をしっかり行い、取り組み方法を考えてくださっていると思ひます。	研修は随時行っていますが、周知説明を強化してきたいと思ひます。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思ひますか。	17		1	・小さな事でも報告していただいています。	迅速に明確な対応が出来るよう、引き続き体制を整えていきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	18			・家や学校以外の子どもの良き居場所、学びを得る社会となっています。	安心して通所できるよう、工夫し支援の向上に努めていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15	3		・レクリエーションでは何をやるのかと、いつも気にして尋ねてきます。 ・先生やお友達と会えるのが楽しみで楽しく成長しています。 ・時々行き渋り発言有り	楽しんで療育活動が受けられるよう、工夫し支援の向上に努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	1		・家ではやりにくかったり、親が思いつかないような体験をたくさんさせてくださって成長につながる多くの刺激をいただいています。 ・親子共々楽しく支援を受けています。	今後も支援の向上に努めていきます。

公表日

令和8年3月20日

事業所名

こぼんはうすくら 神戸舞子教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	2	・児童が10人来所している日は、スペースが狭く感じる時がある。児童の部屋や外遊び等への解放が必要に感じる日がある。 ・10人を超える人数での利用日では狭く感じる事があります。	引き続き安全な空間を維持していきます。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4		・児童の特性により、個別に対応が必要な時もあるが、適切であると感じる。	丁寧な支援が行える配置と専門知識の向上に努めていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		・個別に対応すべき児童はいないが、職員と児童が円滑に過ごせるように視覚的に提示する事も必要。 ・ロッカーや靴箱等、名前シールを活用し分かりやすく構造化していると感じます。テーブルの個別スペースが無いのでテーブル等で仕切っても良いのではないかと感じます。	安心してご利用いただく為に、適切な環境整備を行っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		・掃除、消毒、換気もできており、心地よく過ごせている。玩具、本類の整理を気を付けていく。	清潔で心地よく過ごせる環境整備を行っています。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		・必要に応じて個別の部屋や別室で過ごせるように配慮しながら支援を行っている。	今後もお子様の状況を見ながら、過ごしやすい環境作りに努めていきます。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		・朝礼、終礼等でミーティングを実施している。改善要素があれば、実施している環境。 ・モニタリングやカンファレンスをする機会がもう少しあってもよいと思います。	今後もより良い方法を検討しながら業務改善に努めていきます。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・保護者交流会で場を設けて、意向を聞いている。送迎時、ライン、電話等でも意見を聞いている。	保護者の思いに寄せた支援を行えるよう業務内容の改善、向上に努めていきます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・朝礼、終礼、職員面談、空いている時間に報連相ができています。共有していく事が大切。	引き続き、意見を共有し業務改善、向上に努めていきます。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1	・本部職員が来られたり、MGが来られたりと、舞子教室以外の方の意見も受け入れられている。	児童、保護者が安心して利用できるよう業務内容の改善、向上に努めていきます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・研修、カンファレンスを実施している。職種に合った研修への参加もしていきたい。 ・内々での研修は豊富だと思います。外部の研修の機会が少ないように思います。	引き続き十分な時間を取り、研修を行っています。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		・5領域に沿った支援プログラム、専門支援計画も作成し、職員間で共有し実施していきたい。	引き続き現状を維持していきます。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		・職員間で共有し実施できている。聞き取りシート、電話、送迎時等のニーズを共有し、進めていきたい。	児童の特性を踏まえ、保護者の思いに寄せた面談を行い、支援計画を作成していきます。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		・朝礼、終礼などで共通理解を深めて、個々での関わり方を深めていく。	引き続き現状を維持していきます。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		・朝礼、終礼等で共通認識を持ち、計画、ニーズに沿った支援を心掛けていく。	引き続き現状を維持していきます。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		・標準化されたツールも使用しながら、日々の行動観察を職員間で共有し、5領域に合わせた認識を深めている。	引き続き現状を維持していきます。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		・職員間で支援内容を共有し、児童の将来の姿をイメージしながら支援内容を考えている。	放課後デイサービスガイドラインに沿った支援を考察し、支援内容に反映して行っています。

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1	・多職種で共通理解を深めようと立案していている。	引き続き職員が自分の意見、提案ができる時間や環境を作り、全員でより良いプログラムを提供できるよう努めています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		・レクリエーションやイベント等、固定化しないよう努めている。季節ごとのイベントにも参画できている。 ・固定すべきものは固定させるが、マンネリにならず、利用者にはバランスよく支援が行えるよう内容の見直しをしている。	固定化しないように日々の利用者の状況を把握し、プログラムを立てるようにしていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	4	・自由時間の個人活動にも手を差し伸べ、レクリエーション、イベントの集団活動にも努めていく。	個々の状況に応じた個別および集団活動を組み込んだ計画を考察していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	4	・朝礼で共有し、チームで連携している。情報共有の漏れが無いよう努めていきたい。	引き続き、朝礼で支援内容や留意点等の情報を共有していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	4	・終礼で話し合いができています。お休みの職員にも引き継ぎができるよう努めていく。 ・普段の終礼で今日の振り返りをする機会があるので、自分の行いを振り返る事ができて良いと思います。	今後も終礼時の報告の徹底を図ると共に、全員で情報を共有していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	4	・業務日報、朝礼、終礼ノートに情報を記載している。ミーティング等で改善要素を話し合い、改善に繋げている。	各記録に不備や漏れが無いよう日々の確認を行っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	4	・個々のモニタリングを実施し、その時に合った支援を見直し、支援している。	引き続き現状を維持していきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせず支援を行っているか。	4	4	・「自立支援と日常生活の充実のための活動」「創作活動」「地域交流の機会の提供」「余暇の提供」を踏まえて、支援できている。 ・「地域交流」の機会の場が少ないように感じます。	「4つの基本活動」を組み込んだ支援を考察していきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	4	・子ども達が自身の言葉で伝えられるように支援を続けていく。少し難しい児童には伝える事ができるようにしていく。	児童が自己決定をする力を育てるような支援を考察していきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	4	・子ども達との関りが深い職員が参画していただいています。	今後の検討課題にしていきたいと思ます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	4	・子ども達、保護者が安心していただけるよう、様々な機関と連携して努めていく。	今後の検討課題にしていきたいと思ます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	4	・電話、送迎時等にトラブル、成長過程等、必要に応じて随時情報共有や連絡を取らせていただいている。	引き続き現状を維持していきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	4	・しっかりと連携を取り、個々の情報を認識した上で関わりを深めている。	引き続き情報共有を行っていただけるよう努めていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	4	・舞子教室で過ごし、支援してきた内容・計画書等を提供している。子ども達の事を考えていく上で必要な事。 ・まだ1年足らずしか教室にいないので、移行の様子やスーパーバイズの様子を見ていないので分かりません。	該当無し
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1	・本部の方々や、MG等の訪問もあり、随時指摘をいただきながら支援していく。	今後の検討課題にしていきたいと思ます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	1	・同事業内の他施設との交流の機会はある。 ・こぼんの他教室との交流があるので普段と違った姿が見れて良かったです。	今後の検討課題にしていきたいと思ます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	1	・分かっていないです。 ・まだ1年足らずしか教室にいないので、移行の様子やスーパーバイズの様子を見ていないので分かりません。	今後の検討課題にしていきたいと思ます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	4	・送迎時、電話、面談を通して児童に関する情報提供はできている。	引き続き継続して行っていきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	4	・分かっていないです。 ・まだ1年足らずしか教室にいないので、移行の様子やスーパーバイズの様子を見ていないので分かりません。	保護者が相談しやすい環境、時間を作っていけるよう検討改善を行っていきます。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	・面談、その都度の支援など、応じて丁寧な説明を伝えている。	継続して行っています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	・保護者様のニーズ、子ども達の発達課題等、職員間で共通認識を持つ機会を設けて実践できている。	継続して行っています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	・5領域の項目から、子ども達の発達課題に沿った支援計画内容の説明を実施している。	継続して行っています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	・電話、ラインといったツールの使用や面談を行い、その相談に応じた支援を実施している。	保護者が相談しやすい環境、時間を作っていけるよう引き続き継続して行っています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	・保護者交流会で、保護者同士が話し合える場を設けている。兄弟、姉妹も参加ができています。	継続して保護者交流会を実施して行きます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	・その都度ミーティングや面談を行い、対処していけるよう努めている。	迅速に明確対応ができるよう、引き続き体制を整えて行きます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	・インスタグラムを活用している。レクリエーションの風景もアップしていけるよう努める。 ・インスタグラムの発信はとも良いと思います。他の事業所ではTikTokを活用している所もありました。 ・インスタグラムやLINE、HUGシステム等で情報発信している。	引き続き様々なツールを使用して活動を発信して行きます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	・鍵付きの収納棚に保管できている。 ・不要な書類はシュレッダーにて破棄している。	引き続き、十分に注意し取り扱って行きます。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	・職員間で共通理解を持ち、配慮に努めている。	児童、保護者の状態を把握し、より分かりやすい伝達に努めて行きます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。	4	・地域住民を招く機会は少ないが、同事業所内の交流や保護者交流会を開いている。 ・自分がいる間ではそういった場が無い為、何かできる事はないか職員間で話し合ってもよい様に思います。	今後の検討課題にしていきたいと思えます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	・マニュアルに沿って、研修や避難訓練を実施している。 ・備蓄食品や非常時のライトやラジオ等の準備が必要と感じます。	研修は随時行っていますが、周知を強化していきたいと思えます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	・定期的に避難訓練を実施している。	引き続き研修や訓練を随時行っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	・利用を開始する前に服薬、てんかん等の子どもの状況の確認を実施している。	引き続き十分に留意し保護者からの聞き取りを行い、アセスメントに反映し職員間でも周知を徹底して行きます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	・アレルギー反応が出た際の症状の理解を深めて、起こらないような対応を取っている。	引き続き十分に留意し保護者からの聞き取りを行い、アセスメントに反映し職員間でも周知を徹底して行きます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	・研修、カンファレンス、ミーティングを実施し、その都度適応していけるよう努めていく。	引き続き研修や訓練を随時行っています。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	・電話、ライン、送迎時、面談を含めて、安全な支援が行っている説明を実施している。	今後の検討課題にしていきたいと思えます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	怪我や事故が起こりうる状況になってしまった際に、ヒヤリハットに記載し共有している。	引き続き確認の徹底を行って行きます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	カンファレンスを実施し、共通理解を深めている。	今後も定期的な研修を実施して行きます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	カンファレンスを実施し、保護者との連携を図りながら努めていく。	個別支援計画書にも記載すると共に、保護者への十分な説明を行い、引き続き保護者へ十分な理解を